

18	豊田	美山小学校	マツイ カホリ 氏名 松井 薫
分科会番号	19	分科会名	読書・学校図書館

情報を正しく効率よく調べ、活用できる子の育成
 - 小学4年 国語科「食のおすすめリーフレットを作ろう」の実践を通して -

1 主題設定の理由

調べ学習は興味・関心のある内容を子どもたちが主体性をもって取り組むため、学習した内容を深めるのに有効である。一方で、様々な資料の中から、各自が必要な情報を選び取り、課題解決に向けて情報をまとめるといった情報収集、分析の力が求められる。また、近年は、インターネットから膨大な資料が容易に得られるため、正確な情報を要点を整理しながらまとめることが必要とされている。

子どもたちは、これまでに総合的な学習の時間や国語科、社会科などで図書や資料、インターネットを使った調べ学習を行ってきた。しかし、意欲的に調べ学習に取り組んで情報を集めようとしても、図書やインターネットから必要な情報を見つけられなかったり、調べた情報からの丸写しをして調べ学習を終わってしまったたりすることがあった。その結果、新聞作りなどのまとめの段階では調べたいテーマから逸れて伝えたいことがはっきりしなかったり、使える情報がなく文章が短すぎて中身のないまとめになってしまったりすることがあった。

そこで、子どもたちには、図書やインターネットで情報を探すだけの調べ学習から、正しい情報を見つけ、本当に自分に必要な情報かを吟味したうえでそれらをまとめられるようになってほしいと考えた。課題の設定から検索、まとめまで自分の力で行い、調べ学習を完結できたという達成感をもたせつつ、学習指導要領の〔知識及び技能〕の(2)イ「比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと」にあるような、情報の選び方、まとめ方の力を伸ばしていきたい。

この実践を通して、自分に必要な情報を見極めながら、観点に合った情報収集ができるような調べ学習ができる力を育てたいと考え、本主題を設定した。

2 研究の構想

(1) 研究の目標

めざす子ども像

自らすすんで調べ学習に取り組み、効果的に情報を活用することができる子

(2) 研究の仮説と手だて

【仮説①】 調べ学習の手順やポイントをパターン化・チャート化して流れを可視化できれば、自分で調べ学習を進められるだろう。

手だて① 調べ学習ワークシートの工夫

ペンタゴンチャート、KWL法、Xチャートなど、さまざまな思考ツールを使って調べ学習のパターン化したワークシートを活用する。

手だて② 「調べ学習のすすめ！」チャートの利用

調べ学習チャートを「調べ学習のすすめ！」として配付し、次への見通しをもたせ、より具体的に取り組めるよう調べ学習のどの段階にいるのか、視覚的に子どもが把握できるようにする。

【仮説②】 調べた情報を思考ツールを使いながら観点ごとに整理すれば、観点が明らかになり、目的に合った情報の活用ができるだろう。

手だて③ テーマの観点をずらさず情報収集できるワークシートの工夫

調べた情報が観点からずれないように意識するために、一つ一つの調べた事柄ごとに観点をつけてメモをしていくワークシートを活用する。

手だて④ 思考ツールを使った情報の整理

観点到合う情報が確認するためにXチャートをもとに制作した思考ツールを使って整理する。

(3) A児について

A児の実態	願う子どもの姿
調べ学習にも意欲をもって取り組めるが、知りたい情報をまとめられずに、図書の丸写しになっている。観点と合わない情報もそのままになっている。	テーマに合う情報を見つけられるように調べ学習をしたり、図書やインターネットなど、情報の見つけ方を工夫したりしてほしい。 観点到合う情報を正しく選び、作文やリーフレットなどにまとめられるようになってほしい。

3 研究の実際 (実践)

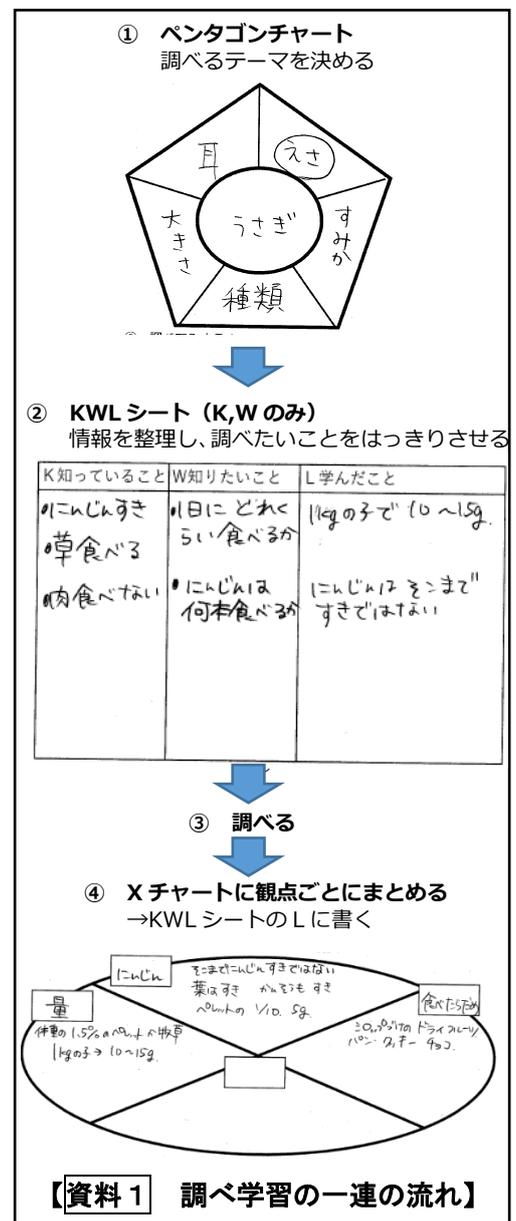
①調べ学習ワークシートの工夫(手だて1)

総合的な学習の時間で、調べ学習をする前に、その事前学習として、①中央図書館の出前授業、②思考ツールの使い方の授業を行った。

①中央図書館の出前授業では、テーマ設定の仕方を思考ツールを使って考える方法と調べ学習の仕方、観点到合うまとめの大切さを学んだ。授業を通して、調べ学習をするためのテーマ設定の重要性を改めて知ることができた。調べられるテーマにしなければならぬことを知り、「調べられないと思ったら、途中でも思い切ってテーマを変えることも大切」という講師の話聞き、「そうなんだ」「気が楽になった」など、これまで調べ学習に行き詰った経験のある児童からは、これまでなかった視点を与えられて安心している様子がうかがえた。

その後、総合的な学習の時間で、テーマを決める前に調べ学習をするための②思考ツールの使い方の授業を行った。ここでは、ペンタゴンチャート、KWL法、Xチャートを一連の流れとする1枚の調べ学習ワークシートを使い、テーマと調べる内容を明確にしていく練習を行った。【資料1】

はじめに、ペンタゴンチャートで大きなテーマに関連して具体的に何を調べたいのかを明確にした。そこから、KWL法を用いて、K(知っていること)、W(知りたいこと)を書くことにより、テーマについて何を知っていて、何を知りたいかが明確になった。調べる時も、「何を知りたいか」「どんな検索ワードをいれるか」を記入することにより、実際に調べる時には、検索ワードがより具体的になったり、選書もしやすくなったりと、資料を探すことに時間のかかる児童が少なく



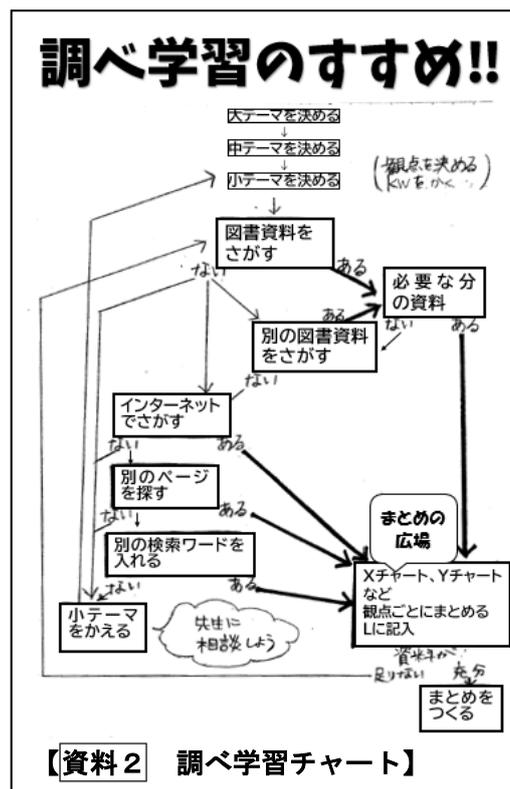
なった。調べて分かったことを、ただ羅列するのではなく、自分で観点を立ててXチャートにメモすることで、自分の知りたい情報が得られているのか、十分な情報が集まっているのかを確認しながら調べることができた。最後に、Xチャートから分かったことをKWLシートのL（学んだこと）に書き直すことで、自分が最初に知りたかったことと学んだことを比較し、きちんと調べられたのかを確認することができた。はじめはKやWを書くのも時間がかかったり、検索ワードも文章を入れたり、ホームページを見てもどの部分をXチャートに記入すればいいかわからずに1つ1つの工程に時間がかかってきたA児も、この学習をペンタゴンチャートのテーマを変えながら繰り返し行うことで、調べ学習のパターンが分かった。1枚のワークシートの中で完結することで、調べ学習のパターンが明確になり、より観点を意識した調べ学習ができるようになった。

②「調べ学習のすすめ！」チャートの利用(手だて2)

これまで、調べ学習をするときには、「どこから始めたらよいか分からない」、「次に何をすればよいか分からない」、「調べる内容が吟味されていない」など、一つ一つの活動が切れてしまうことがあった。そこで、調べ学習の途中でつまずいても、自分で学習の段階を把握し、どの手順を進めればよいか分かるように、調べ学習チャートを用意した。【資料2】

国語科「食のおすすめリーフレットを作ろう」の単元では、自分がおすすめしたい郷土料理を調べる際に調べ学習チャートの表を掲示し、活用した。今、自分がチャートのどのあたりにいるのかを確認し、困ったらどうすればよいかを考えることで、自分からすすんで調べ学習に取り組めるようにした。

学校司書の協力により、多くの図書資料を用意したこともあり、資料がない時はすぐに切り替えて他の図書資料を探したり、どうしても事例にあう情報が見つからない時は小テーマを変更したりするなど、より効率的に情報を探せるようにした。資料が少なかったり、情報を見つけれなかったりした時はどうしたらいいのか、「調べ学習チャート」で確認していたので、子どもたちはスムーズに調べ方を変えたり、検索の言葉を吟味したり、もっと紹介に適した理由がないかと考えたりすることができた。A児は調べ学習の振り返りの中で自分の集めた情報をもっとあったほうがいいことに気が付き、次回また資料を集めたいと考え、調べ学習に主体的に取り組む姿が見られた。【資料3】



【資料2】 調べ学習チャート

けっこう資料は足りてるけど、おいしさと見た目を、あわせて4つ書きたいと思ったので、もっと資料を集めたいと思いました。

【資料3】 A児の振り返り

③調べる観点を明らかにするワークシートの工夫(手だて3)

国語科「食のおすすめリーフレットをつくろう」の単元では、「おいしさが伝わるリーフレットを作って3年生にしようかいしよう」という学習目標を立てた。おいしさをきちんと伝えるために、自分がおすすめる理由（観点）とその事例（情報）を、リーフレットに書く活動を行う。そのためには、集めた情報を取捨選択し、自分の言葉で簡潔にまとめる力が必要である。

総合的な学習で環境について調べ学習を行う時に、調べたことを短冊型の情報カードに納まるように書くようにした。しかし、調べていくうちに観点がテーマとずれていたり、資料の丸写しになってまとまりがなかったりした。また、字を小さくして枠の中にたくさんの情報を書く児童もいた。

そこで、次に調べ学習をした国語科「くらしの中の和と洋」では、「観点」と「調べた結果」をひとま

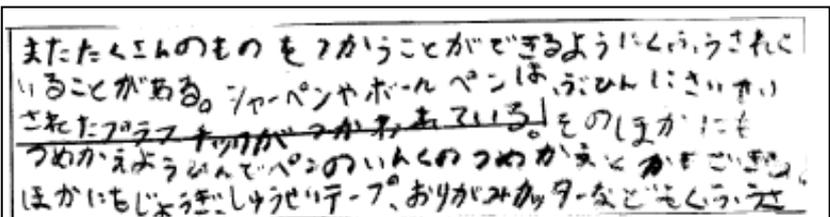
とまりにした情報カードにし、調べた内容は短い文でまとめられるように、枠は小さめのものにした。

A児は、総合の環境の調べ学習の時は、必要のないことを羅列し、情報カードの中に何文も書いていた。

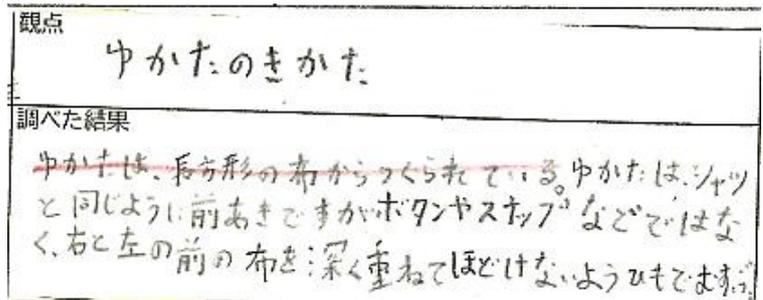
【資料4】「くらしの中の和と洋」では、必要ではない情報もあるものの、少しずつ要点をしぼって短くまとめることができるようになってきた。【資料5】さらに、「食のおすすめリーフレットを作ろう」では観点到合うことだけをまとめられるように、さらに枠を小さくして2段に区切った。これにより、A児は調べたことを要点を絞って短くまとめることができるようになった。

【資料6】

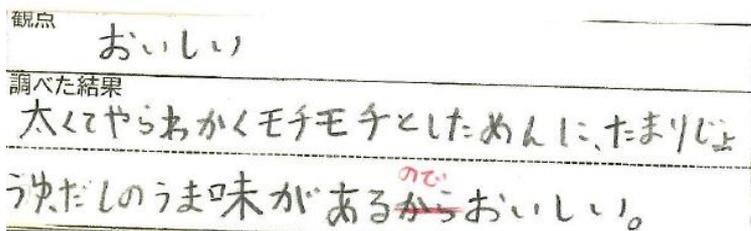
また、観点を一緒に書くことで、常に観点を意識し、調べ学習を進めることができた。そして、短く簡潔に書くことができるようになったため、調べた情報を見返すことが容易になり、自分で観点とのずれを修正し、情報収集することができるようになった。【資料7】



【資料4】 総合的な学習の調べ学習。「どうやってリサイクルするのか」というテーマと違うものがあったり、情報が多すぎたりしている】



【資料5】 「くらしの中の和と洋」の調べ学習ワークシート。テーマからずれた内容も書いている。(取り消し線は手だて4で記入)】



【資料6】 「食のおすすめリーフレットを作ろう」のワークシート。観点からずれずに短くまとめられている】

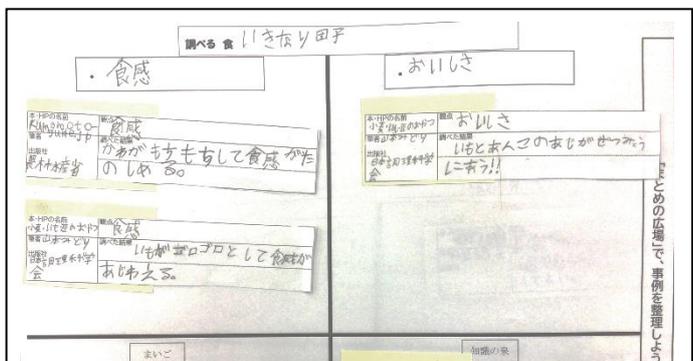
調べたいこととずれないようにすることを気を付けました。理由からずれないようにやりました。けど少しちがうのを書いているのがあったので気をつけようと思いました。

【資料7】 A児の振り返り】

④ 思考ツール (Xチャート) を使った情報の整理1 (手だて4)

集めた情報を観点ごとに整理するために、Xチャートを用いたワークシート (まとめの広場) を活用した。観点1 (おすすめの理由1)、観点2 (おすすめの理由2)、知識の泉 (観点とずれているもの)、まいご (どこに分類したらよいか分からないもの) の4つの部屋に分け、情報カードは、付箋のようにつけ直しができるようにすることで、何度も考え直しをし、貼り替えることができるようにした。

中央図書館の出前授業でも、観点と違うものはまとめに使えないと学習していたので、子



【資料8】 観点にカードが1つしかなく、情報が足りないB児】

もたちはリーフレットに書く内容をきちんと吟味したいと考えていた。

A児は、おすすめの食に伊勢うどんを選び、観点を①おいしい、②見た目がいい、とし、集めた情報を分類していった。分類に迷う情報カードが何枚かあったが、一つ一つどの部屋に分類できるかを考えていくうちに、正しく分けることができていった。

その中には、観点とずれている「知識の泉」に分類されるものが何枚かあった。Xチャートを使って分類することで、観点到合わせて情報の取捨選択ができた。

また、情報を整理したことで、観点到合った情報が少ないことに気付き、このままではリーフレットを作れないので、調べ直したいと考える子どもたちもいた。【資料8】

追加の調べ学習では、子どもたちは、より目的意識をもって、観点到あった情報収集に臨むことができた。

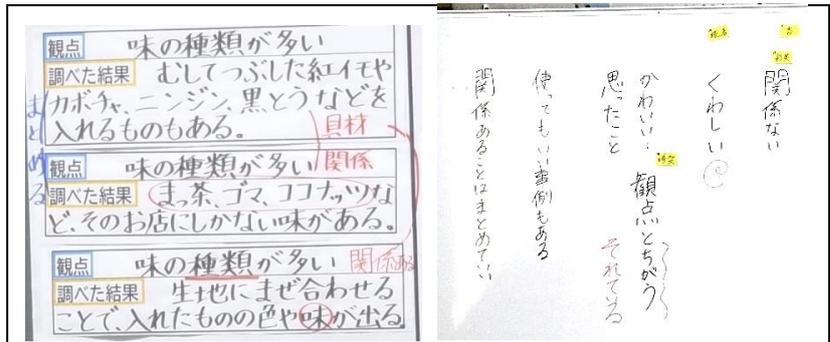
⑤ 思考ツールを使った情報の整理2 (手だて4)

「まとめの広場」で整理した情報を、より効果的にリーフレットに活用するために、さらに情報の取捨選択を行った。リーフレットを使って3年生におすすめの食について伝えることを再度確認し、一つ一つの情報を見比べていくと、「なんだか情報がごちゃごちゃしていて分かりづらい」、「3年生においしさが伝わるかなあ」とより伝わりやすいリーフレット作りを意識するようになった。

そこで、モデル文を使って一つ一つの情報を、より分かりやすくまとめるためにどうしたらよいか話し合った。「似ている内容だから、一つにまとめた方がよい」「観点到ずれている余分な説明は、なくした方がよい」「この言葉は3年生には難しいから分かりやすくした方がよい」など、複数の情報カードを1つにまとめたり、情報カードの一つ一つの内容を簡潔にしたりすることが、伝えたいことが伝わるリーフレット作りにつながることに気付くことができた。【資料9】

A児は、伊勢うどんの「見た目がいい」という観点的事例として「具材が多い」ことを調べていた。まとめるなかで、具材について、いくつかの枠にまたがって書いていることに気付き、一つにまとめた方がいいと考え、情報カードに赤で書き込んでいた。【資料10】

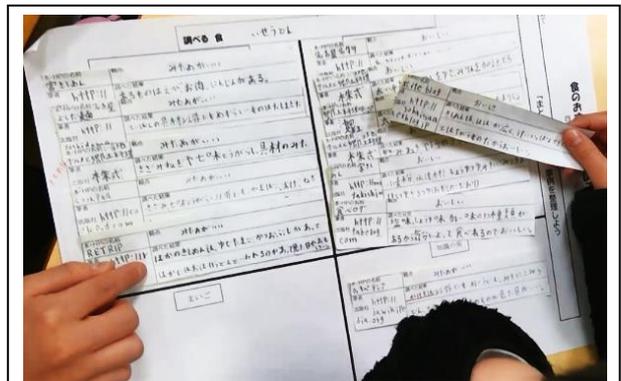
個人でまとめの広場を確認した後に、ペアで再度見直し、「まいご」のカードの位置を考えたり、第三者から見て観点到ずれていたり、言葉が分かりにくかったりしたところなど、自分では気付かなかったところなどを教えてもらうことができた。【写真1】指摘されたことを修正することで、観点到と情報が一



【資料9】 学級でまとめたモデル文と、まとめのポイント

本・HPの名前 よし麦屋	観点	みためがいい
著者 http://yoshidamen.co.jp	調べた結果	ていほの具以外にもめずらしいものはまたまこ、したけがみためがある。
本・HPの名前 宮きしめん	観点	みためがいい
著者 http://miyakisshimenc.co.jp	調べた結果	あるものはえび、お肉、にんじんがある。ほかにも豆?みたいなものもある。
本・HPの名前 Cook Pad	観点	みためがいい
著者 http://cookpad.com	調べた結果	ささみと味とからい以外にも、たまご、あげ、ねぎ。その他にまたまこ、かぼち、豆腐もあるから見た目がいい。

【資料10】 見直したA児のまとめの広場



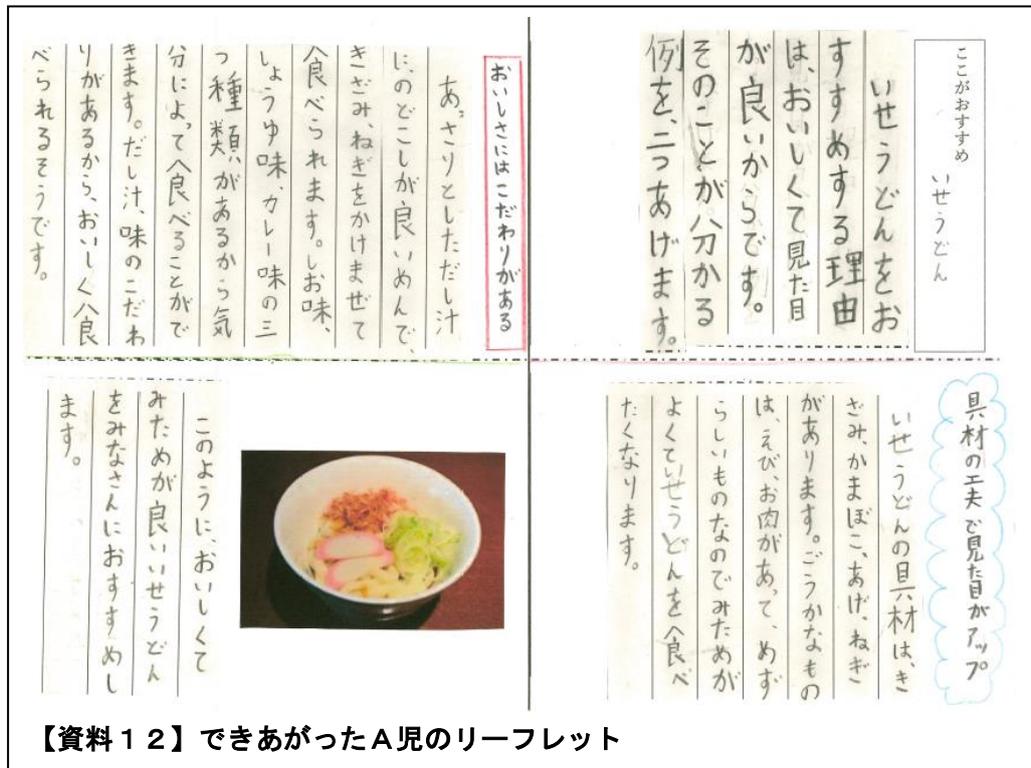
【写真1】 ペアで情報の整理をするA児 (右)

致し、より相手を意識した情報の整理ができ、リーフレット作りにつなげることができた。【資料 1 1】

となりの席の子と見合う時に、いせうどんなのにしめんのことを書いていたら教えてくれたりしたので良かったです。次は3年生においしさが伝わるリーフレットを作りたいです。

【資料 1 1】 A児の振り返り】

出来上がったリーフレット【資料 1 2】について、感想という形で3年生に評価してもらった。A児は、目的をもって情報を収集、整理し、まとめることが、効果的に情報を活用するために大切であると実感した。【資料 1 3】



【資料 1 2】 できあがったA児のリーフレット

調べ学習で気をつけた、観点、事例を勉強したり調べたりして、大変だったので、3年生においしさが伝わって、うれしかったです。観点からずれないように書くのはむずかしかったけど、勉強になってよかったです。

【資料 1 3】 A児の単元の振り返り】

4 まとめ (成果と課題)

(1) 成果

A児は「食のおすすめリーフレットを作ろう」の単元の振り返りで「観点からずれないように書くのはむずかしかったけれど、勉強になった。5年生でも調べ学習ですばやく調べられるようにしたいと思った」と調べ学習に自信をもち、これからも自らすすんで取り組もうという意欲をもつことができた。リーフレット作りのあとに行った、社会科「愛知県のガイドマップを作ろう」の単元の調べ学習でも、自分で観点を決め、必要な情報を選び、スムーズにまとめることができた。子どもたちは、この実践を通して、見通しをもって調べ学習ができるようになったことで、調べたい情報を効率的に調べ、取捨選択し、効果的に活用することができる力が付いたと考える。

(2) 今後の課題

調べ学習を始める前に、調べ学習の仕方について学習した時に、インターネットの情報は信用できないものがあることを押さえ、その信憑性を考えて調べ学習をするように指導をした。しかし、調べ学習を進めるうちに、その点が疎かになり、情報源の信憑性や真偽まで考えて情報収集することができていなかった。これからは、より正確で新しい情報を選んでいけるように、誰が、どんな意図で発信した情報かも吟味したうえで調べ学習をできるようにしたい。